

2008年11月14日

## 日本衛星ビジネス協会 2008年度第2回施設見学会報告

事務局長 松藤 浩一郎

日本衛星ビジネス協会は、2008年11月14日(金)、今年度2回目となる施設見学会を、(独)情報通信研究機構(NICT)鹿島宇宙技術センターにて開催致しました。秋晴れの空の下、大和久会長(株式会社 放送衛星システム 取締役)以下23名が参加し、同センター内外の施設やプロジェクトの見学を行いました。ご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

鹿島宇宙技術センターは、昭和39年にNICTの鹿島支所として開設され、同年10月の東京オリンピックの国際衛星テレビ中継の成功を皮切りに、情報通信と宇宙科学の研究開発を進めてきました。現在は、移動体衛星通信技術や、混雑する静止軌道上の衛星位置を精密に把握し交通整理を行う技術等の研究開発を行っています。

協会員は2組に分かれて、34mアンテナ、衛星軌道監視システム、WINDSプロジェクト、ETS-VIIIプロジェクト等の見学を行いました。中でも、世界で唯一の衛星軌道電波監視システムの干渉計の機構(写真1)や34mアンテナ(写真2)の迫力は圧巻でした。

この見学会で、最先端の宇宙科学技術に触れることにより、衛星分野は今後益々、様々な分野で発展していく可能性を秘めていることを実感しました。ご協力いただいた鹿島宇宙技術センターの皆様、本当にありがとうございました。



写真1 可動基線電波干渉計



写真2 34m アンテナ

以上